

きずな

第27

平成23年10月15日発行

～11月の行事予定～

- 11月2日(水) オープンガーデン大網白里
「園芸講座」
- 11月12日(土) 福祉ねっとまつり
- 11月14日(月) まちづくり未来塾
「津波の史跡巡り」
- 11月19日(土) まちサポ交流サロン開催
- 11月26日(土) 子ども村
「青空パーカッション」

まちサポ交流サロンの実施

九月十七日、会員団体相互の交流のために

会員団体相互の交流を図るために行っています交流サロンを、九月十七日、8団体から一人ずつ参加していただき行いました。それぞれの団体で今抱えている問題、悩みを近況報告と共に発表し合いました。

どの団体にも共通する問題として、

- ・活動するための人材不足
- ・技術等特殊能力を持っている方を探しているが見つけられない。
- ・活動の為の資金不足

- ・安定した活動場所が欲しい

・活動する為の情報がうまく伝わらないし、伝えられない。
以上5点がありました。これらを解決する為にはどうしたら良いか、みんなで考えてみました。

まず情報の発信については、毎月の町広報のサポートセンターのコーナーや、「きずな」に掲載する事が出来るので、毎月末までに掲載したい内容の連絡を、事務局に入れる事になりました。そのほかの事については、活動の理解者を少しづつ広げて行くしかないようで、すぐには解決策が見つかりませんでした。

次回の交流サロンは、市民活動の先駆者からお話しをうかがう予定です。興味のある方はご参加ください。

ゆるるアクテイチ

定例会の報告

三世代と障害者の為の居場所を考える会、ゆるるアクティブの第2回目の会合を行いました。



今回は、それぞれの世代が抱える課題を出し合うことにしました。児童の部分については、児童館設立プロジェクトで話し合われていますが、老人や障害者については、これまで別々に話し合われていたので、一つづつ拾い上げなければなりません。一口に障害者といっても、いろいろな症状の方がいらっしゃるのか、ヘルパーさんの付き添いがあれば一緒に出来る事など、検討する課題はたくさんあります。老人についても同じことです。

元気なうちは人の役に立ちたいとは誰もが思うことです。自分の得意な事を活かして交流できるサロンの様な場所づくりを心がけて、みんな話し合っていけます。出来る事からゆつくりと、みんなで過ごせる場所を造っていきましょう！

毎月第2木曜日 午後3時

まちサポにて

※どなたでもお気軽に

ご参加ください。

11月12日(土)

第2回

福祉ねっとまつり

九十九里福祉ネットでは「知ろう・つながろう・生かし合おう」をテーマに障害の種別を越えて4年前から集まり月2回の定例会をよりどころに大切に交流してきました。そして、地域にどんな施設・団体があるのか知ってほしい、生活しづらい人達のことをより理解していただきたい、そうした人達が楽しめる一日にしたい。その思いを持って、昨年第1回を開催、今年2年目を迎えます。昨年参加出来なかった方々、是非今年はお参加いただきたいと願っております。

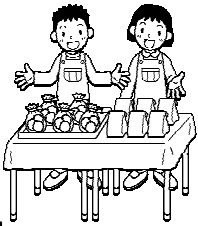
第2回 福祉ねっとまつり

平成二十三年十一月十二日(土) 午前十時～十五時
大網白里農村環境改善センター(いずみの里)にて

【内容】

社会福祉法人「ワナーホーム」寺田理事長講演
各施設・団体の紹介、活動報告、作品の展示、販売、相談窓口 各団体・個人交流会、発表(合唱、バンド演奏、歌と踊り、よさこい等)

※昼食等が食べられるスペース設置予定



園芸講座のお誘い

オープンガーデン大網白里
あなたのお庭を花でいっぱいにしてみませんか? オープンガーデン大網白里ではこのほど園芸講座を2回開催します。

一回目 十一月二日(水) 十三時半～

☆九月に種まきをしました花の苗の植え替え作業を行います。参加費200円

持ち物 移植ごて・軍手

ピンセット 苗を持ち

帰る為のダンボール箱

二回目 十二月七日(水) 十三時半～

☆寄せ植え講座 数種類の花苗を自分の好きに植え付けます。使った苗の代金がかかります。

持ち物 移植ごて・軍手

※両日とも農村環境改善センターにて 雨天でも開催。参加される方はまちサポへ要申し込み



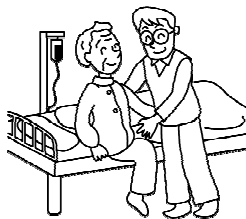
施設紹介

介護保険事業所

『ケアほしの木』

六十歳になったら会社を作りたいと働いているときから思っていました。念願かなって会社を作ってみました。会社は大変な事も有るのがわかりました。最初は失敗だらけでしたが、一年が過ぎ少し周りが見えて来ました。背伸びしないで自分の出来る事から少しずつ思っています。自分がヘルパーになって困った事をヘルパーさんに教えながら、外部研修と社内研修(保健師の野崎さんに助けていただきながら)を行い、良いヘルパーを育て、また自分も教えていただきながら顧客にとつての価値あるサービスの提供を目指しています。現在ヘルパー9名で介護保険と有護保険と有料の組み合わせや有料のナイトケア、日中の見回りケアや病院の付き添いケアなどをこじんまりとお客様と相談させていただきます。

これまでの実績として、ついこの間まで大網病院で付き添いのケアをしていました。また在宅で過ごした方へ、介護保健の利用と夜間のナイトケアを約一年程ターミナルケアを含めて行いました。



ヘルパーさん(登録)募集

ほしの木ボランティアも募集中!

研修を受けてみたい、勉強したい資格はあるけど使っていない方。一緒にヘルパーを目指しましょう!そして地域の皆様に喜んでみましょう。

訪問介護・障害福祉サービス
有料サービス・夜間ヘルパー
日中見回りケア 等

大網白里町駒込大網ハイツB-1411
ケアほしの木 田畑
TEL 70-0771

郷土の歴史 - 5

古山 豊 (郷土史研究会会長)

「元禄の巨大地震と大津波」(その4)

先月中旬のことである。九十九里浜のほぼ中央部を流れている木戸川河口にある“うなぎ鯉料理”を看板にしている「橋本食堂」に数人で立ち寄った。平日で、しかもまだ明るい夕方であったので客はほとんどいなかった。美味いうなぎを頂きながら料理を運んで来るたびに奥さんと話しができた。

3月の地震・津波は如何でしたか？

「大変でした。お婆ちゃんが川を見てただ事ではないと感じ、着の身着のまま岡へ避難したんです。津波が引いたところを見計らって店に戻ってみると、建物は土台だけしかなく驚きました。対岸(北側)は地盤が低いので、さらに被害は大きかったですね。土手は何カ所も決壊しました。塩水で沿岸の松や木々はほとんど枯れ、二階建ての一階部分はほとんどの家が津波にやられています」

半年が過ぎた現在でも、旭市にある「国民宿舎いいおか荘」を始め、海辺にそびえ建つ“かんぽの宿”はことごとく営業停止状態となっている。「いいおか荘」前の遊歩道は、瓦礫の山(写真)が続いている。



つげたり

元禄地震の場合は、

九十九里浜南部が大きな被害を被っている。東大地震研の津波推定高は4~5メートルとしている。白子町関小母佐の池上家

は「一代記付リ津浪ノ事」という古文書が伝わっている。記した先代は池上安闊という医師である。津波の様子をリアルに伝えている。「丑の刻ばかりに大山の如くなる潮、上総九十九里の浜に打ちかゝる。海ぎわより岡へ一里ばかり打ちかけ、潮流れゆく事は一里半ばかり、数千軒の家壊れ流され、数万人の僧俗男女流され溺死する(以下略)」とある。白子町関は、白子町役場周辺で町の中央部に南白亀川が流れていることもあり、地形的にみても地盤はかなり低い。津波は一里(4km)ほど押し寄せ、海水は一里半(6km)も流れ込んだことが分かる。この津波で安闊は流され仮死状態であったところ、朝方、近くを通った人が藁を焼いて暖めてくれたので一命を取り留めたと続けている。

お七のきんぎょ

私は毎日(月々金)、大網東小学校に通学する子ども達の交通整理をしています。(千葉県交通安全推進隊に所属)

毎日、今井モータースさんの前に立っていると、子ども達がいろんな事を話してくれます。昨日こんな事をした、泳げるようになった・など。実はこんな事がありました。

通学途中のM・Iちゃん(4年生)が、「おじさんお金を拾いました。」と、千円札を持って来ました。M・Iちゃんは、交番へ行く時間がないので、私が預かり交番に届けることにしました。私は、交通整理終了後、駅前交番に拾得物の届け出を

しました。それから3ヶ月後、東金警察におもむき、千円をもらって来ました。早速、M・Iちゃんの家に行き、お金の処理を保護者であるお母様と話し合い、小学校に寄付する事にしました。私は小学校に行き、校長先生にお会いし、事の顛末を話し、お金を手渡しました。

これで一件落着ですが、私が思うには、M・Iちゃんの正直者のお金を届けるという行動です。私ならどうしたか？ 貴方ならどうしますか？

『小さな善行』

宇田一正

震災から学ぶこと

3・11以降被災地に向けて、物資や傾聴のボランティアなどの支援を行って来ましたが、大網白里町の事については町任せにしていました。他の所に比べれば目立った被害はありませんでしたが、みんな少なからず被害を受けたわけです。震災後半年経ってしまいましたが、その日そのときどう過ごしていたか記録に残そうと考えています。まちサポの会員団体を中心にアンケート調査を行う予定でいますので、皆様のご協力をお願いいたします。

また、先の津波の足跡を訪ねて、一人一人の危機管理意識を高めようと、まちづくり未来塾では、講師に郷土史研究会会長の古山豊先生による、大網白里周辺の「津波史跡巡り」を行う予定です。先人の教えと今回の震災の現状から、今後に役立てていければと思っています。皆様のご参加お待ちしております。

「きずな」に掲載する情報をお寄せ下さい。ちよつとした体験談、大網白里町の隠れた魅力、みんなに知らせたいことなど、市民活動をしている方に限り募集しています。毎月末ごとに締め切り、翌月の10日頃の発行を目指しています。この「きずな」は現在、公共の各施設に置いて有ります。一部の地域ではポステイングもされています。現在の地域ではポステイングもされています。一部の地域ではポステイングもされています。現在店頭等に置いて配布して下さる方を募集しています。

皆様のご協力をお願いします。



あみくん、さぽちゃんの
大網白里★あれこれ

★不法投棄監視委員を知ってますか？

大網白里町廃棄物等不法投棄監視員は、平成5年に設置されました。現在町長より委嘱を受けた20名でその職にあたっています。その目的や不法投棄の現状等について紹介いただきました。

設置した目的は？

町内各地域の不法投棄及び野焼きの現状を的確に把握し、災害の発生及び自然環境の破壊を未然に防止する事で、快適な生活環境の保全に資する事です。

不法投棄の現状は？

千葉県は過去10年間で全国でワースト10位以内、平成20年に至っては14位と大変多い県になっています。その理由として

- ①首都圏に位置し、交通条件が良いこと。
 - ②丘陵地や谷津が多く、農地・山林が遊休し土砂採集跡地が多いこと。
- などが要因と考えられます。

大網白里町の現状は？

減少傾向にはありますが、22年度の実績は、不法投棄が、①家電類(39件) ②自転車類(71件) ③可燃ゴミ(63件) ④粗大ゴミ(12件) ⑤廃材類(28件) ⑥その他(4件) 野焼きが、①家庭ゴミ(7件) ②廃材類(10件) ③小枝類(15件)になります。

私たち住民としてできることは？

不法投棄をさせない

‘監視の輪’を広げましょう！

印刷料金変更のお知らせ

7月より印刷の価格を変更させていただきました。

A4の印刷原稿1枚につき

会員登録されている方 100枚迄300円

会員登録されていない方 100枚迄500円

※100枚単位で計算させていただきます。

60枚であっても、100枚の料金とさせていただきますのでご了承ください。他のサイズの印刷や製本についてはご相談下さい。

尚、こちらの印刷はあくまでも市民活動の援護として行っております。印刷の業者ではありませんので、お間違いのないようお願いいたします。

事務局より

大網白里町大網 32-3
<http://machisapo.net>

TEL/FAX ; 0475-72-8278
E-mal:info@machisapo.net